



TSUBOMI LIGHT

製品仕様書

**YRS125W-TBM-WP-OD-J/L
YRS125W-TBM-WP-OD-J/N**

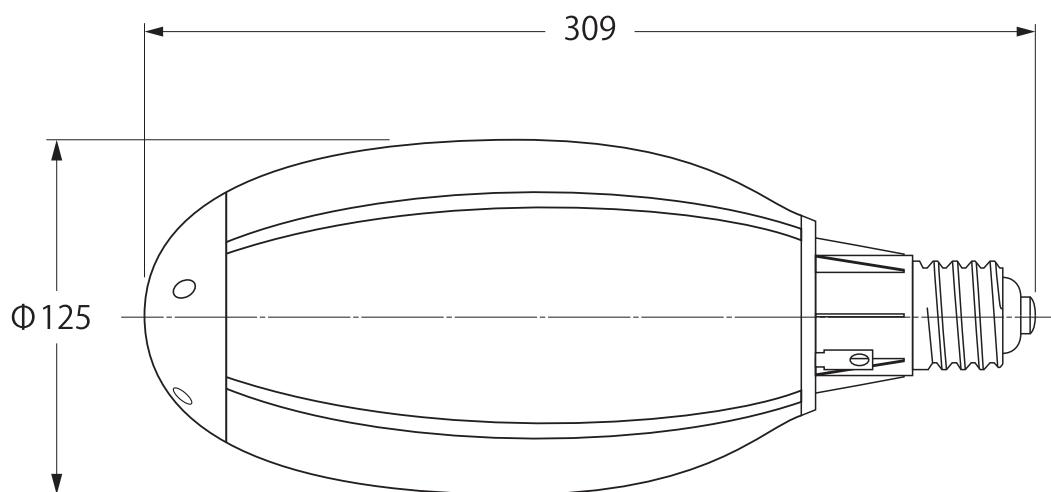


1. 製品外形寸法

TSUBOMI LIGHT 製品外形図

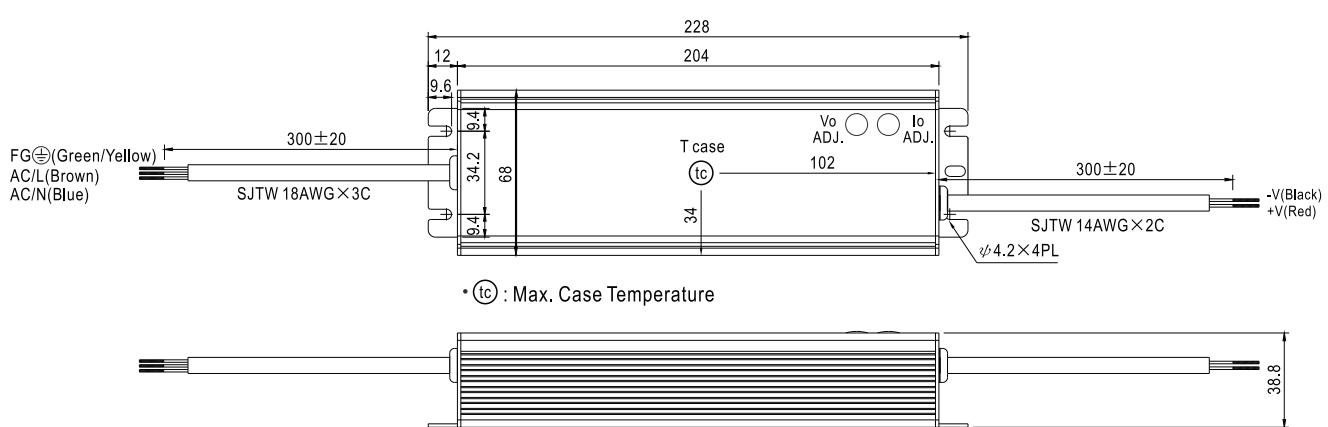
YRS125W-TBM-WP-OD-J/L
YRS125W-TBM-WP-OD-J/N

単位 : mm



専用電源

単位 : mm



2. 製品仕様

[本体仕様]

品名	TSUBOMI LIGHT	
品番	YRS125W-TBM-WP-OD-J/L	YRS125W-TBM-WP-OD-J/N
消費電力	125W	
入力電圧	DC48V	
対応口金	E39	
サイズ	$\Phi 125 \times 309\text{mm}$	
質量	1,300g	
設計寿命	50,000h	
色温度	3,000K (電球色)	5,000K (昼白色)
演色性	Ra73	
使用温度	-40 ~ 50°C	
保護等級	IP65	
配光角度	330°	
全光束参考値	18,400lm (電球色)	20,000lm (昼白色)
周波数	50Hz/60Hz	
製品保証	3年	

[電源仕様]

品名	専用電源	
品番	HLG-150H-48A (MEAN WELL 製)	
サイズ	228×68×38.8mm	
質量	1,100g	
入力電圧	AC100 ~ 277V±10%	
周波数	50Hz/60Hz	
入力電流	1.7A/115V	0.75A/230V
出力電圧	DC48V	
保護等級	IP65	
適合規格	PSE	

[製品入力電流値]

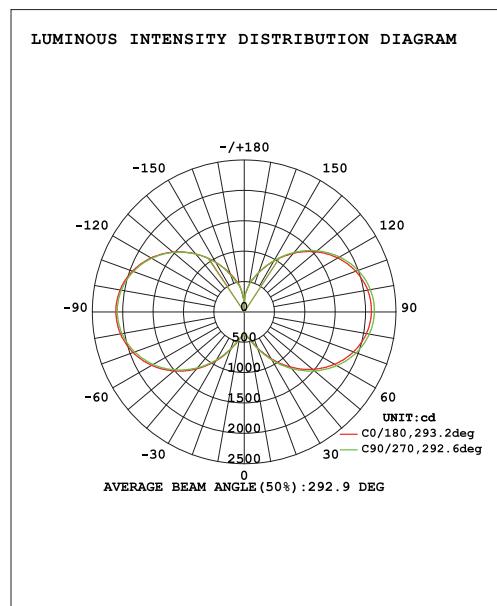
入力電流	1.25A/100V	0.64A/200V
------	------------	------------

3. 配光特性

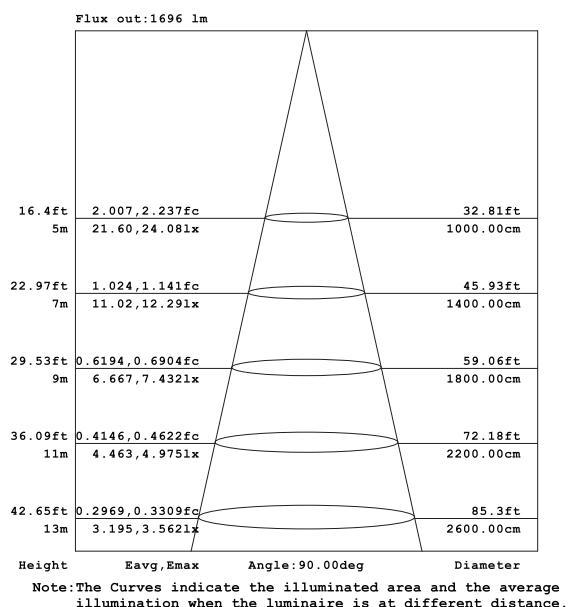
TSUBOMI LIGHT

■ YRS125W-TBM-WP-OD-J/N (昼白色)

配光曲線



照度図



4. 梱包様式

TSUBOMI LIGHT

■ YRS125W-TBM-WP-OD-J/L (電球色)

■ YRS125W-TBM-WP-OD-J/N (昼白色)

項目	個別梱包（電源含む）	外箱（6個入）
サイズ	330×208×156mm	436×348×503mm
重量	2,780g	17.7kg

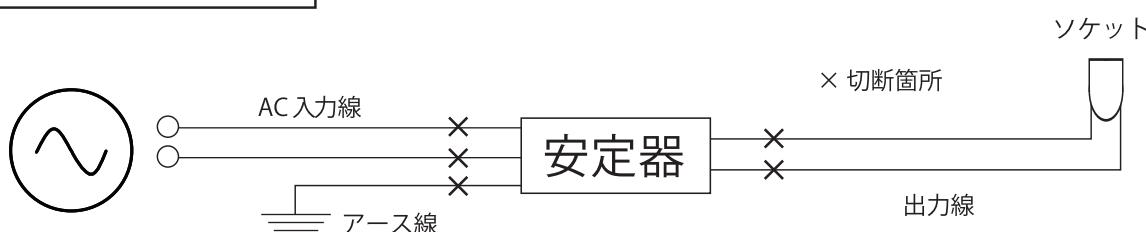


5. 工事手順（既存器具に取り付ける場合）

1 配線の切断 <外部電源タイプ>

- 現状設置されている安定器への AC 入力線と、安定器からソケットへの出力線を下図のように切断してください。

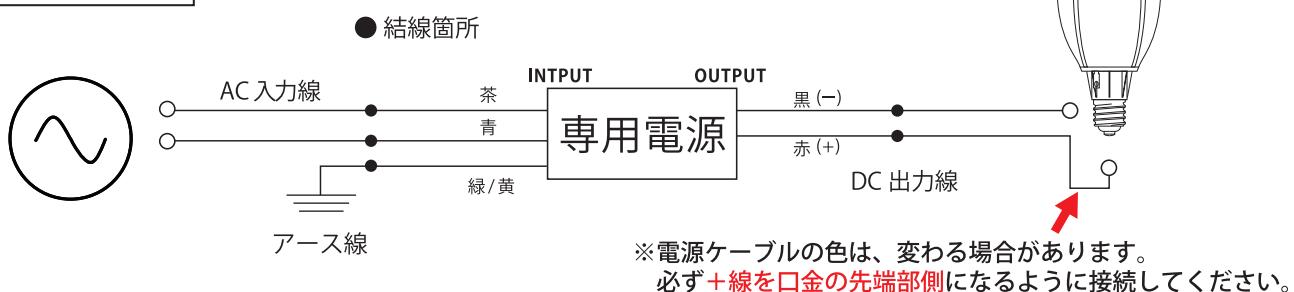
現行の配線と切断箇所 (器具の種類により回路が異なる場合があります)



2 専用電源の接続

- 切断した AC 入力線と外部電源の AC 入力線（茶、青）を接続してください。
- アース線と外部電源のリード線（緑/黄）を接続してください。
D 種（第3種）設置工事が必要です。
- 切断したソケットのリード線と専用電源の DC 出力線を、
+ - を間違えないように接続してください。（下図参照）

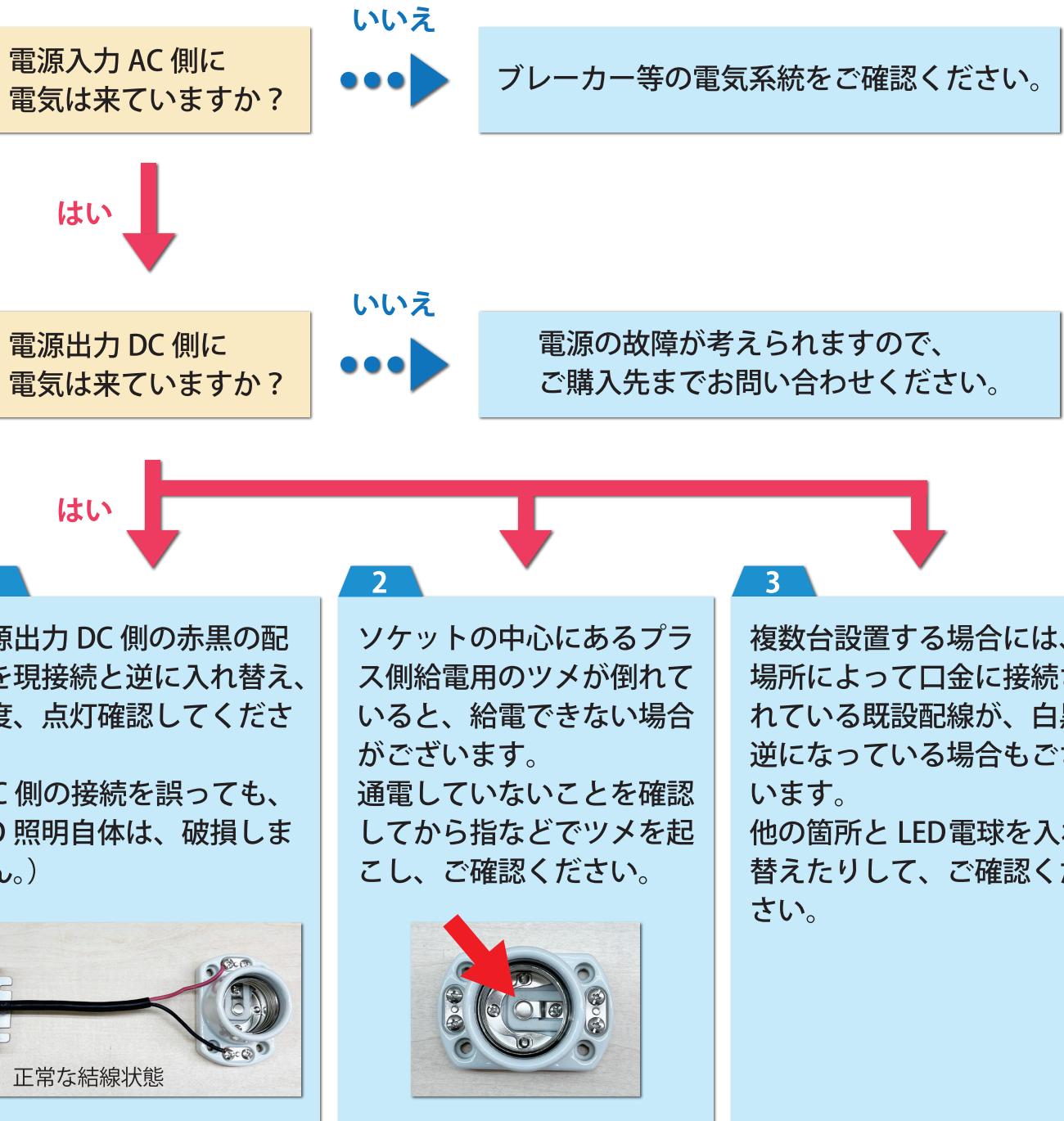
結線後の配線



注意

- AC 入力線（電源側）と DC 出力線（照明側）を逆接続すると、LED 照明の専用電源が壊れる可能性があります。接続には十分ご注意ください。
- 専用電源は製品の特性に合わせて調整し出荷しています。
付属の電源以外を接続すると故障の原因となる場合がありますので、必ず付属の電源をご使用ください。

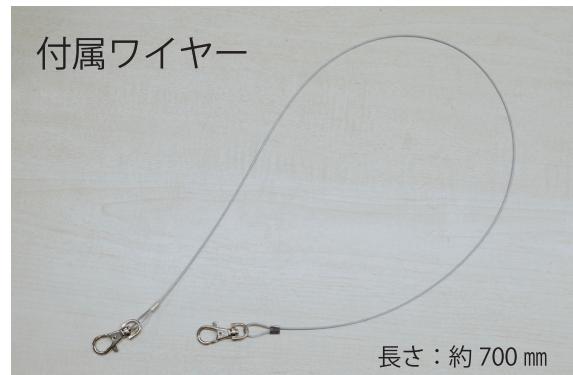
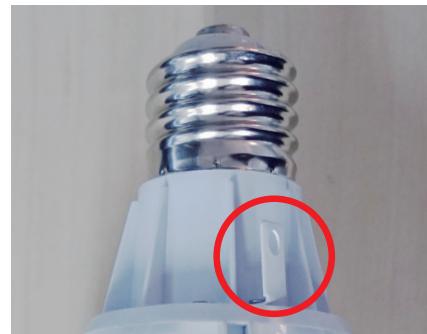
点灯しない場合のトラブルシューティング



上記の 1～3 を確認しても点灯しない場合は、LED 電球側の故障が考えられますので、ご購入先までお問い合わせください。

6. 落下防止ワイヤーの取り付け

- 写真の丸印のフックに付属のワイヤーのフックを取り付けます。



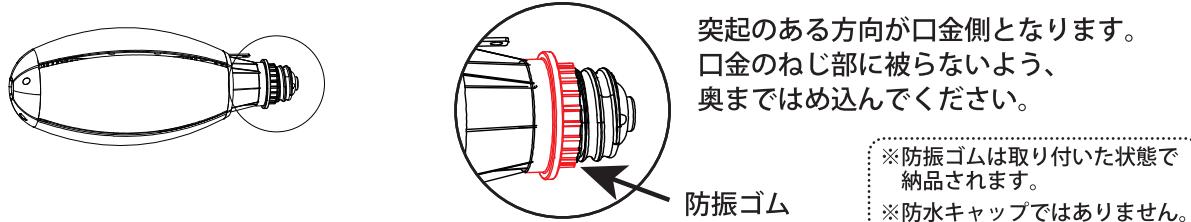
- 落下防止ワイヤーは、落下防止と共に口金の負担軽減目的でも取り付けいたしますので、必ずピンと張ってください。
- ワイヤーは器具本体などの固定された部分にひっかけて使用してください。



※写真はイメージです

7. 設置時の注意事項

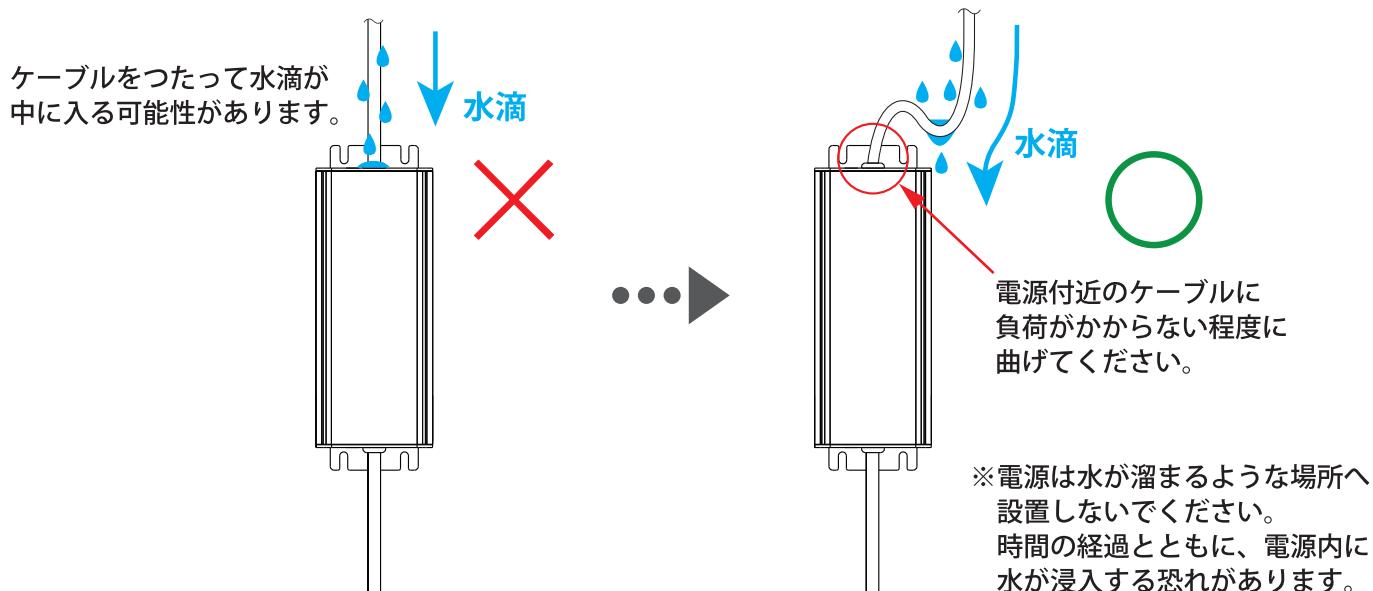
- 防振ゴムが正しくはめ込んでいることを確認してから、取り付けてください。



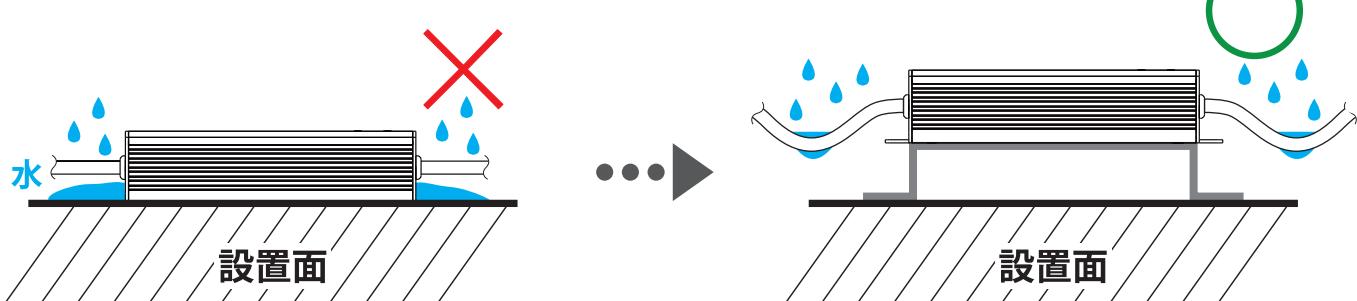
- 電源は防水ではありません。

- 電源設置の際は、雨などの水滴侵入の防止のため、下図のように各電源の保護等級に応じた環境でご使用ください。

- ケーブルをつたって水滴が電源本体に垂れないよう工夫して設置してください。



- 電源は水が溜まるような場所へ設置しないでください。



時間の経過とともに、電源内に水が浸入する
恐れがあります。

設置面を浮かせたり、ひさしを付けるなど、
水滴が溜まらないような工夫をしてください。

電源は可能な限り、雨水等が直接当たらないように設置してください。

